



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 355
October
2022

トピックス

関係機関との協力推進

▶ アジア太平洋防災閣僚会議 (APMCDRR2022)

国際会議への参加

▶ 中央アジア地域国家防災当局長会議

▶ 気候変動の脆弱性、社会的影響、自律的適応のための教育に関するワークショップ

お知らせ

アジア防災会議2022 (ACDR2022)

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
<https://www.adrc.asia>

© ADRC 2022

● 関係機関との協力推進

アジア太平洋防災閣僚会議 (APMCDRR2022)

アジア防災センター (ADRC) は、2022年9月19日から22日にかけてオーストラリアのブリスベンで開催されたアジア太平洋防災閣僚会議 (APMCDRR2022) に参加しました。

ADRCは、児玉美樹研究部次長をモデレーターとし、9月21日に「『誰も置き去りにしない』」に焦点を当てた主体的な行動のための防災リテラシーへの投資による災害に強いコミュニティの構築」と題したパートナーイベントを開催しました。

イベントでは、幅広い分野の関係者から「誰も置き去りにしない」ための行動として防災リテラシーへの投資を含む災害に強いコミュニティを構築するための革新的な実践例が紹介されました。イベントにおける協議を通して、1) 人々の防災リテラシーを高めるためには、防災文化を構築し、様々な人々が積極的に防災活動に参加することが効果的であること、2) 特に若い世代を対象とすることが次世代のリーダー育成につながること、3) 地域レベルにおいて、平時の日常生活、福祉や社会的保護の活動と緊急時の防災を持続可能な形で結びつけることが重要であること、などについて確認しました。また、こうした活動を持続的に行っていくためには、コミュニティ防災活動に対する政策的・財政的なバックアップが重要であることを再確認しました。まとめとして、防災を特別な対策として扱うのではなく、コミュニティの政策立案や計画策定における重要な課題の一つとすることが大切であることを提言しました。これは、APMCDRRの共同議長声明の中で述べられている「コミュニティの優先事項と地域機関を支援する社会全体のアプローチによって、我々の努力は最も成功する可能性が高い」にも結び付く提言です。イベントの詳細については、<https://www.adrc.asia/acdr/2022apmcdrr.php> をご覧ください



ADRC主催パートナーイベントの様子

Building Resilient Communities by Investing in DRR Literacy for Proactive Actions focusing on "Leave No One Behind" (APMCDRR Partner Event 12)

Schedule
21 September 2022
13:30-14:30

Venue
Mezzanine Room M2 BCC

Speakers:

- Prof. F. T. S. Shigen (Daishu Univ., Japan)
- Ms. Pham-Duyen-Khang (Vietnam Disaster Management Authority)
- Ms. Victoria Langston (Plan International Asia Pacific Hub)
- Dr. Yi-Chung Liu and Mr. Yusaku Imai (ADRC)
- Prof. Nobuyuki Satoh (Keio Univ., Japan)
- Ms. SAKAMURA Aiko (ADRC)
- Ms. KOSUDA Yoko (ADRC)

Outlines:

Realizing the importance of empowerment of community for reducing disaster damage, this event showcases innovative practices in building community resilience, including investing in their literacy or actions that ensure "no one is left behind". Introducing the successful examples of wide range of stakeholders, this event will emphasize the importance of enhancing disaster literacy of all stakeholders in community, as well as networking of stakeholders in the communities to sustain and accelerate the actions.

For more details, please visit the event website: <https://www.adrc.asia/acdr/2022apmcdrr.php>
Contacts for inquiries: Asian Disaster Reduction Center (email: info@adrc.asia)

ADRC主催パートナーイベントのチラシ

続き

い。

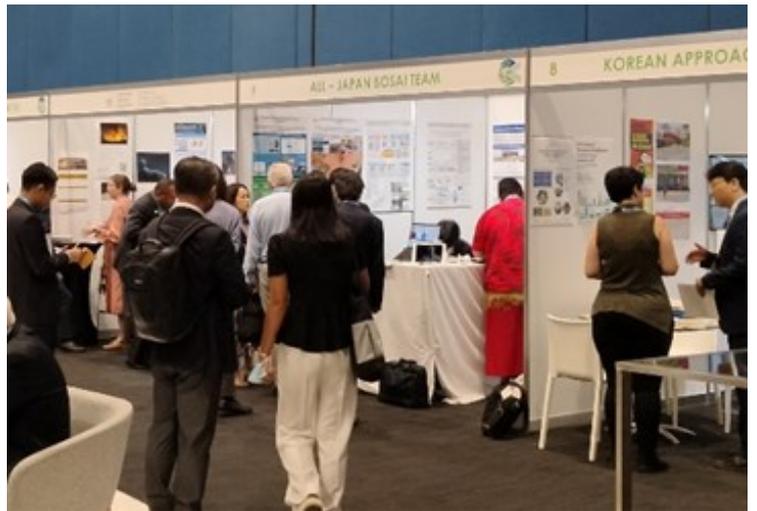
また、ADRCは「日本防災チーム」の一員として、会議のマーケットプレイスで最近の活動を紹介するポスターを2枚展示しました。

「準天頂衛星システム（QZSS）による早期警報メッセージプラットフォーム」や「宇宙技術と情報通信技術の活用による防災力強化」など最近特に力を入れている活動について会議参加者に紹介しました。

さらに、ADRCは下記などのさまざまな会議のイベントに参加しました。(1)全体会合「リスク情報を活用した投資と災害リスク軽減のための資金調達の拡大」（9月20日）、(2)ワーキングセッション：災害に強いインフラサービスのためのガバナンスと関係者の関与（9月20日）、(3)イグナイトステージ：仙台市におけるコミュニティ防災を支援する人材能力構築（9月21日）。

また、ADRC笹原顕雄所長は、アジア太平洋地域においてさらに災害に強いコミュニティを構築していくために、ADRCが行う取組みの紹介と、共に学んでいくことを呼びかける公式ステートメントを発表しました。

ステートメントの全文は、<https://bit.ly/APMCDRR2022ADRC> でご覧いただけます。



マーケットプレイスの様子

●国際会議への参加

中央アジア地域国家防災当局長会議

中央アジア地域国家防災当局長会議（地域フォーラム）は、中央アジア防災センター（CESDRR）とタジキスタン緊急事態委員会（CoES）の共催により、2022年10月4日から6日にかけてタジキスタンの首都ドゥシャンベで開催されました。地域フォーラムには、中央アジア諸国の緊急事態当局の責任者、国連機関、ドナー、国際機関、非政府組織など70名以上が参加しました。

地域フォーラムでは、仙台防災枠組のさらなる実施、大規模自然災害の被災と復興の経験、包括的アプローチ、国境を越えた協力、防災への投資など、国際防災協力に関する多くのトピックについて議論されました。

CESDRRからは、地域早期警報システム及び脅威と緊急事態に関する相互情報交換のための技術作業部会が設置される予定であることが紹介されました。

ADRCは、客員研究員プログラム、センチネル・アジア・プロジェクト、GLIDE、中央アジア地域の防災力向上に資する各種活動を紹介するとともに、タジキスタンにおける将来のアジア防災会議（ACDR）の準備などについて報告を行いました。



中央アジア地域国家防災当局長会議

気候変動の脆弱性、社会的影響、自律的適応のための教育に関するワークショップ

2022年9月12日から14日、カンボジアの環境省及び東アジア・アセアン経済研究センターが主催する、「気候変動の脆弱性、社会的影響、自律的適応のための教育に関するワークショップ」がカンボジアのシエムリアップで開催されました。このワークショップの目的は、気候変動の脆弱性評価と、成功した自律的・計画的な適応策の実施に関するASEAN加盟国の職員の能力を強化することでした。

ADRCは、セッション2「気候脆弱性の社会経済的意味と適応計画の枠組み条件」に参加し、日本の洪水・土砂災害対策に関する幾つかの優良事例を紹介する発表を行いました。また、ADRCの池田主任研究員は、ディスカッションセッションのパネリストとして登壇しました。



池田主任研究員による発表

●お知らせ

アジア防災会議2022 (ACDR2022)

今年度の当センターの年次会合、アジア防災会議 (ACDR) は、2023年3月10日～12日（一般向けプログラムは3月11日～12日）にかけて、仙台市で開催されることになりました。詳細につきましては、今後、本紙面および当センターのホームページでお知らせしていきます。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。